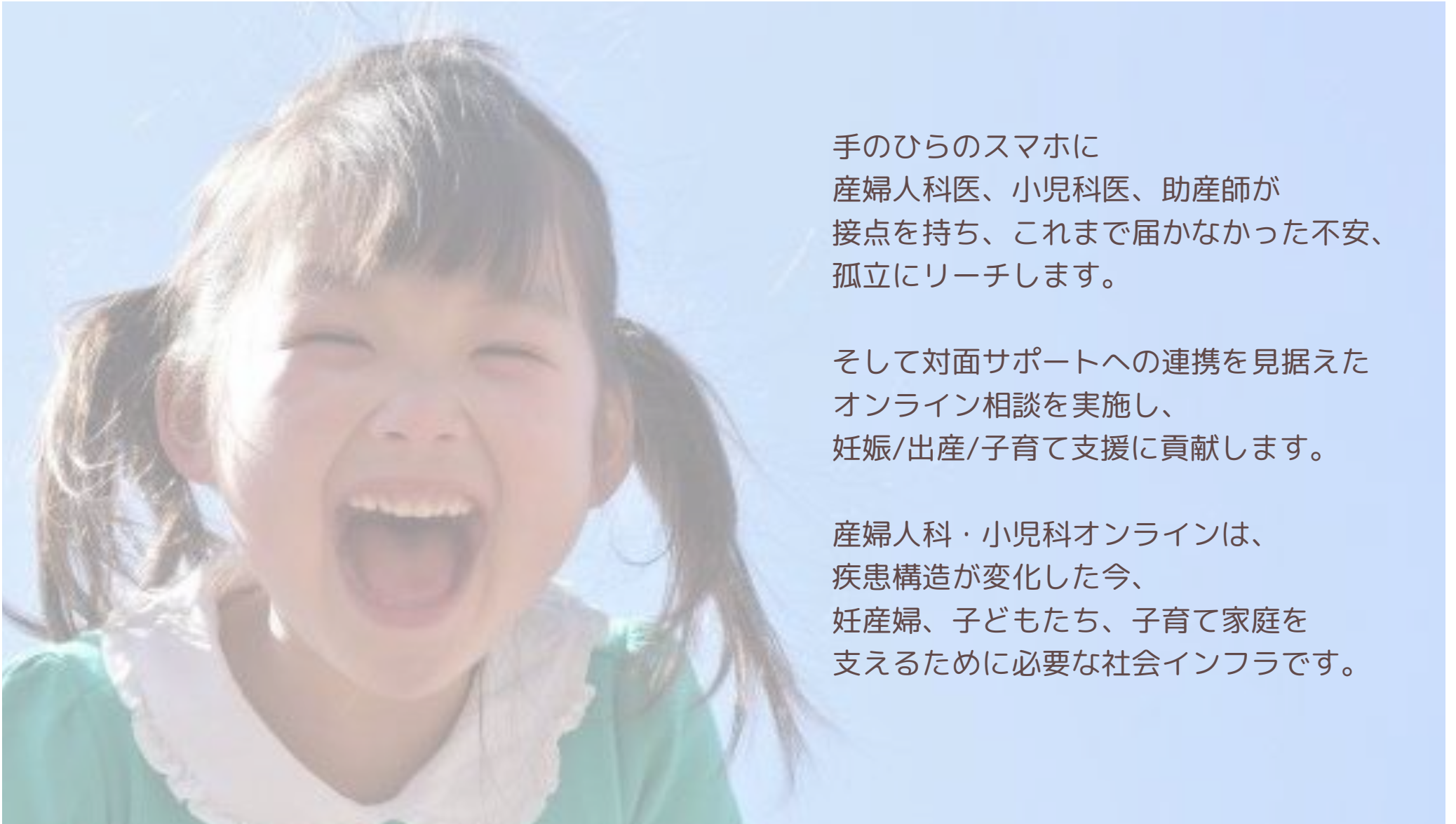




# サービスご紹介資料

産婦人科オンライン・小児科オンライン

株式会社Kids Public



手のひらのスマホに  
産婦人科医、小児科医、助産師が  
接点を持ち、これまで届かなかった不安、  
孤立にリーチします。

そして対面サポートへの連携を見据えた  
オンライン相談を実施し、  
妊娠/出産/子育て支援に貢献します。

産婦人科・小児科オンラインは、  
疾患構造が変化した今、  
妊産婦、子どもたち、子育て家庭を  
支えるために必要な社会インフラです。



## 橋本直也

CEO, 小児科専門医, 公衆衛生修士, 小児科オンライン  
代表, こども家庭審議会成育医療等分科会委員

- 2009年 日本大学医学部卒
- 2011年 聖路加国際病院にて初期研修修了
- 2014年 国立成育医療研究センターにて小児科研修修了
- 2016年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業
- 2015年- 都内クリニック、小児二次救急施設勤務、株式会社Kids Public設立
- 2021年- 一般社団法人遠隔健康医療相談適正推進機構 副代表理事
- 2024年- 小児オンライン診療を行うClinic With Me設立

オンライン  
医療相談

オンライン  
診療

クリニック  
診察

小児救急  
外来

業界団体  
副代表理事

政府委員

研究

### 3歳女児 右大腿骨骨折

原因：母親による殴打によって受傷

背景：母子家庭、発達障害あり

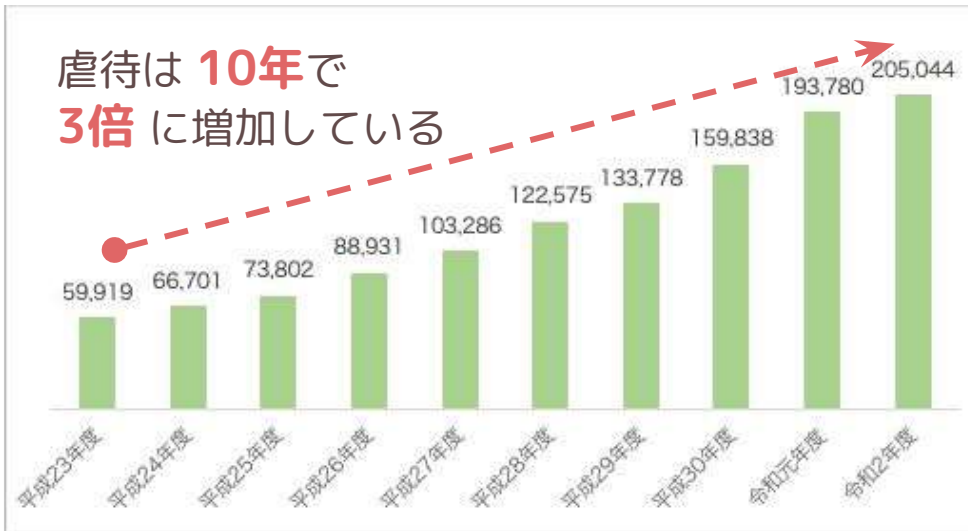


病院で待っているだけでは、

健康は守れない



## 虐待の相談数は10年で3倍



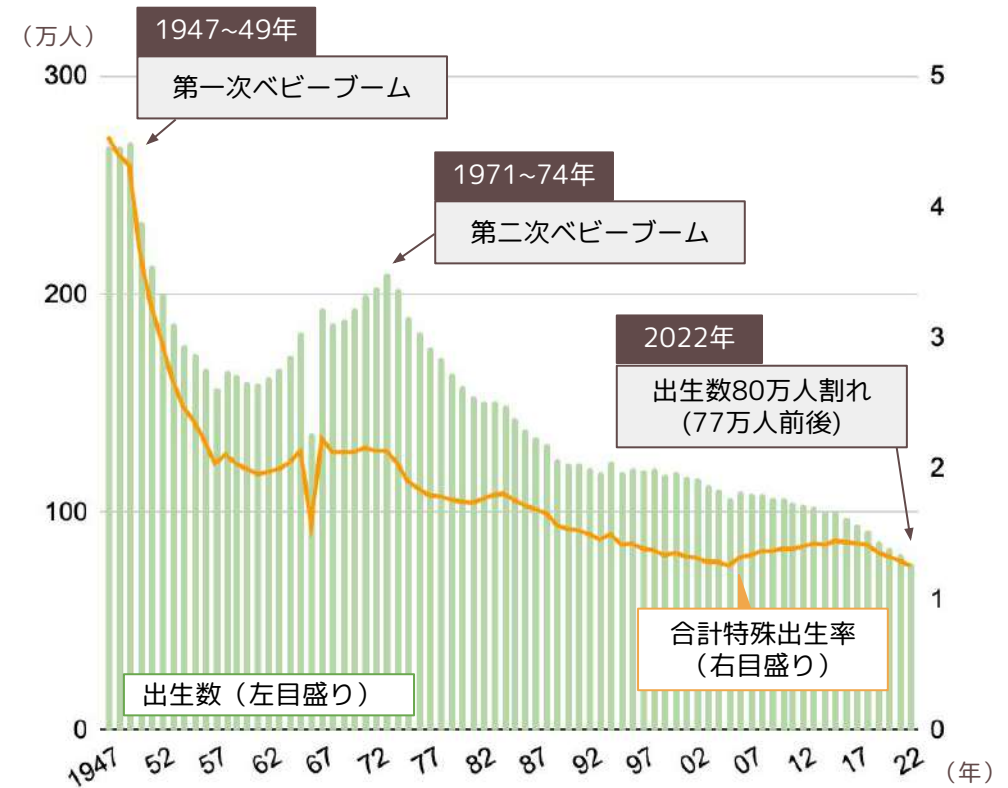
厚生労働省：令和2年度 児童相談所での児童虐待相談対応件数

## 妊産婦死亡原因のうち、自殺が1位

- 産後うつは、出産した母親の10人に1人の割合で発生
- 産後うつのおと社会復帰できない母親もいる
- 母親の健診が産後1ヶ月で終了し専門家との繋がりがなくなる

## 人口減少

### 出生数と合計特殊出生率の推移



## 妊産婦から子育て家庭を取り巻く現状と課題を鑑みて、 弊社のオンライン相談事業は以下4点を独自の強みとして提供

1	ユーザー目線で切れ目ないサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 妊娠（不妊含む）、出産、子育てを一気通貫で切れ目なくサポート</li> <li>● 通常時から不安発生時まで、利用者の状態に応じたサービスの提供</li> <li>● 24時間毎日相談受付</li> </ul>
2	医師、助産師による対応、質の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 250名以上の産婦人科医、小児科医、助産師が所属、対応を約束</li> <li>● 個人の心身の状態に応じた必要な医学的助言は医師のみに許容されている（厚労省指針<sup>*1</sup>）</li> <li>● 医師、助産師によるQuality Control Team（QCT）体制を社内に持つ</li> <li>● “共感的アプローチ”<sup>*2</sup>のエビデンスあり</li> </ul>
3	エビデンスに基づくサービス提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 弊社のオンライン相談サービスは豊富なエビデンスを持つ</li> <li>● 国際英文雑誌に掲載されるほどの質の高い研究実績もあり、他の事業者にはない強み</li> </ul>
4	自治体連携（虐待、産後うつ対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録時にフルネームと郵便番号の入力を必須とし、必要時の連携を可能に</li> <li>● 社内の医師、助産師が複数人で判定し、自治体へハイリスク者を連携</li> <li>● 自治体職員（保健師・保育士など）から弊社への相談にも対応</li> </ul>

<sup>\*1</sup>厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」

<sup>\*2</sup>田中俊之, 橋本直也: 共感的アプローチの遵守とオンライン医療相談の満足度の関連. 第16回ITヘルスケア学会年次学術大会, 東京, 2023.9.24

# 1.ユーザー目線で切れ目ないサポート：産婦人科・小児科オンライン

---

簡単に小児科医・産婦人科医・助産師と繋がれる環境を提供し、  
妊娠（不妊含む）、出産、子育てを一気通貫で切れ目なくサポート



## 24時間毎日相談を受付するいつでも相談をはじめ、通常時から不安発生時までの利用者の状態に応じたサービスをパッケージで提供

### いつでも相談

- 毎日24時間、質問を受付
- 原則24時間以内に医師/助産師より回答送付



### 医療記事配信

- 小児科医/産婦人科医/助産師が執筆した記事をメールやLINEで配信

### 夜間相談

- 平日18時～22時（1枠10分の予約制）
- **メッセージチャット**や**動画通話**に対応



### オンラインLIVE配信

- 授乳や卒乳、離乳食などに関する動画をLIVE配信
- 配信後1ヶ月はアーカイブ動画を閲覧可能

### 日中助産師相談

- 月・水・金13時～17時
- **予約なし**で助産師とLINEのメッセージチャットが可能



### 産後うつフォロー

- 産後1年まで定期的にスクリーニングを実施



オプション  
提供

## くすりぼ

### 【概要】

- 多くの人々が悩む「妊娠中～授乳中の薬」の悩みに人力がかからない形で対応
- BOT形式で回答を即時表示
- ユーザーは4～5問の設問に回答
- 回答内容に応じて飲んで良い薬、症状に関する受診の目安などを表示

### 【提供方法】

- 自治体様のウェブサイトに掲載
- サービスURLを住民の方に告知など



→今後、不妊治療に対応したbotなどを開発予定

オンラインツール（メッセージチャットや動画通話）を通じ、  
手軽に悩みや不安についてご相談いただけます

## いつでも相談

- ・ **毎日24時間**、質問を受付
- ・ 原則24時間以内に医師/助産師より回答送付

## 夜間相談

- ・ 平日18時～22時  
（1枠10分の予約制）
- ・ **チャット**や**動画通話**に対応
- ・ 相談開始の**15分前**まで予約可能

## 日中助産師相談

- ・ 月・水・金13時～17時
- ・ **予約なし**で助産師とLINEのチャットが可能



24時間、気軽に相談できる「いつでも相談」の利用が多い

		小児科医	産婦人科医	助産師	総計	
夜間相談	LINE メッセージ	1.9%	0.7%	0.4%	3.0%	8.5%
	LINE 音声通話	2.9%	0.6%	0.6%	4.0%	
	LINE ビデオ通話	1.0%	0.1%	0.1%	1.2%	
	電話	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%	
いつでも相談		60.1%	12.2%	12.1%	84.4%	
日中助産師相談				7.1%	7.1%	
総計		66.1%	13.7%	20.2%	100%	

※夜間相談・いつでも相談・日中助産師相談を利用中の法人について、2023年4月～2024年1月データをもとに集計

## 相談例

- 最近発熱38度近くあり2-3日経ったあと、熱が下がりましたが、急にブツブツが出てきました。病院に再度受診した方がいいのでしょうか？  
(小児科 いつでも相談)

相談内容に最も近い内容をお選びください

発熱 (38.0度~)     せき・鼻水  
 嘔吐     下痢  
 便秘     発疹・皮膚  
 ケガ     成長・発達  
 栄養・食事     新型コロナ  
 その他

相談したいこと (300文字以内)

最近発熱38度近くあり2-3日経ったあと、熱が下がりましたが、急にブツブツが出てきました。病院に再度受診した方がいいのでしょうか？

家でケアの方法  
 病院受診の目安

医師に見せたい写真があれば添付してください

アンケート

上記にお寄せいただいた内容及び写真を匿名化した上で今後、相談事例として公開させていただいてもよろしいでしょうか？

はい     いいえ

相談内容の確認をする

## 回答例

- いつでも相談の回答文は700~1,000文字程度
- 平均回答時間は7~8時間

### 小児科オンライン

#### いつでも相談 (小児科医) (回答)

ご相談ありがとうございます。  
小児科医の橋本直也と申します。  
よろしくお願致します。

お子さんの発疹に関してのご相談ですね。お熱は下がってよかったですね！でも新しく発疹が出てきてご心配ですね。病院受診の目安に関して重点的にお答えします。

まず、お熱と発疹の原因からですが、発熱のあとと発疹が出てきたという経過から、一般的には、突発性発疹を可能性の一つとして考えます。お子さんはこれまで突発性発疹にかかっていますか？突発性発疹はヘルペスウイルス6型と7型の2種類によって起こり、2回かかる可能性があります。

突発性発疹は高いお熱が数日続いた後、解熱とほぼ同時に発疹を引き起こしてくる病気です。解熱後に発疹が出てくることで、突発性発疹と診断することができます。そして、この発疹はこの病気が治りつつある証拠でもあります。そのため、発疹自体は今後数日続きますが、基本的に発疹に対しては何もする必要がなく、このまま様子を見ていただくだけで結構です。お子さんの様子が元氣そうであれば特に病院受診も必要としません。

食欲もあり、いつも通り寝ているということであれば、それも良いサインです。発疹は誰かにうつるということもありませんので、お子さんが元氣でさえあれば、いつも通り過ごしていただいて構いません。

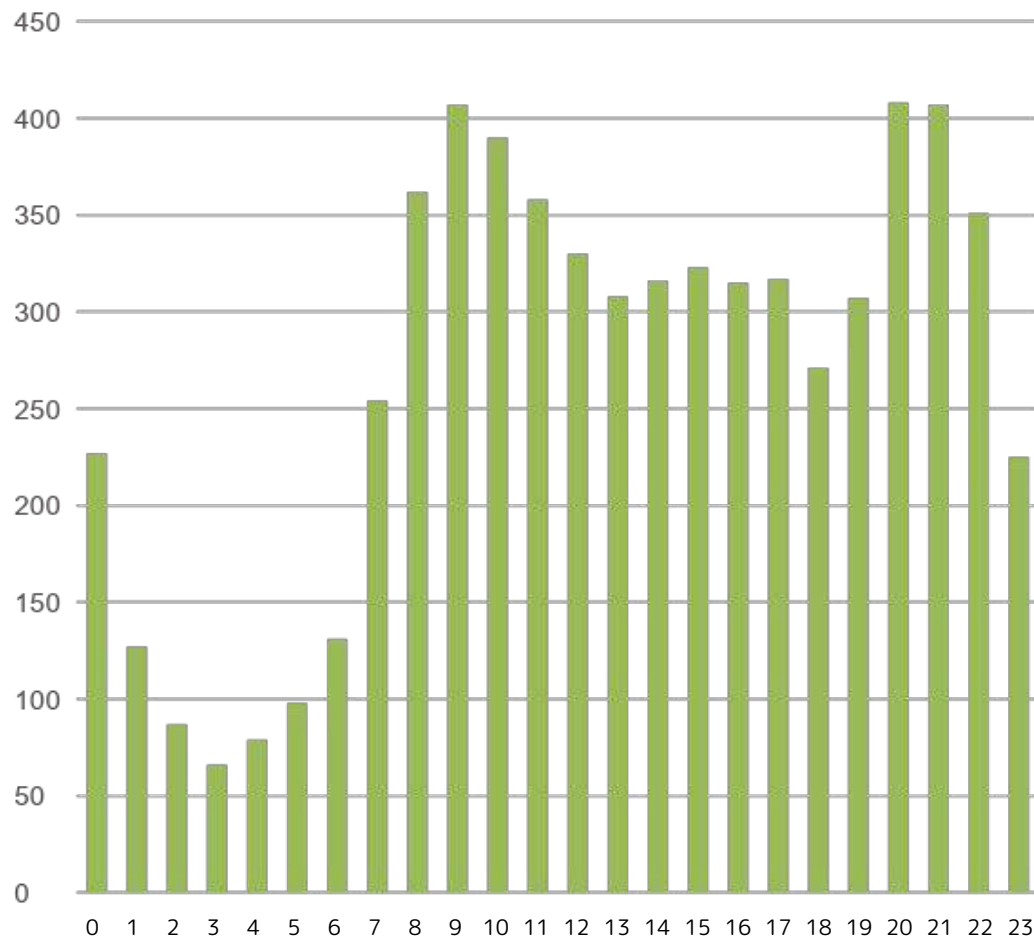
少しはご参考になりましたでしょうか？  
どうぞお大事になさってください。

後ほど、利用後のアンケートがメールで送られます。お子様のその後のご様子も気になりますので、よろしければアンケートにご協力頂けると幸いです。

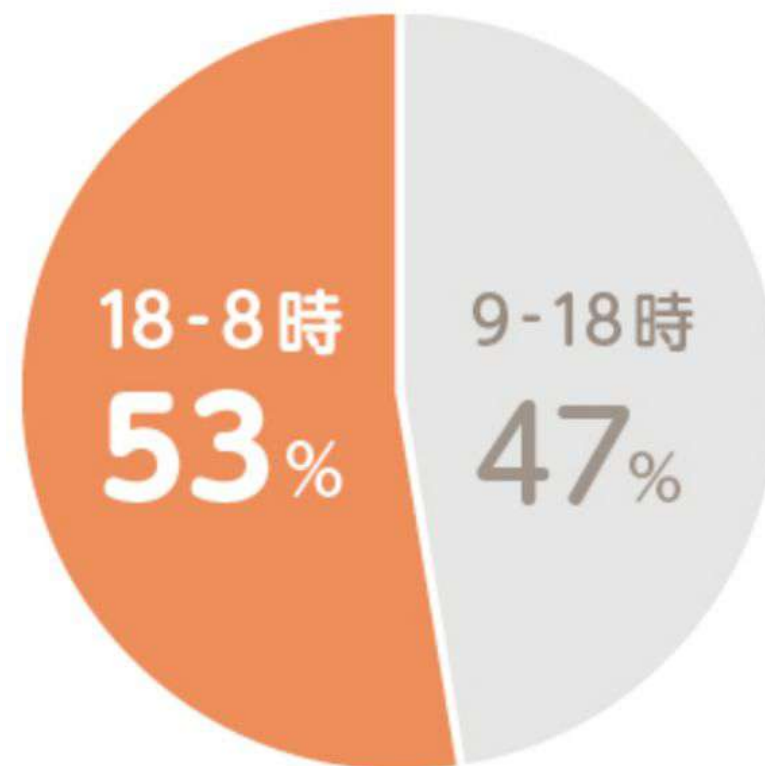
小児科オンライン  
橋本直也

## 夜間に相談したいという住民の方のニーズは強い

いつでも相談受信時間帯分布(n=6,464)



時間帯による比率(n=6,464)



※調査期間：2020年11月1日～2021年6月21日

育児相談など病院では相談しにくいようなものから、  
乳児湿疹や月経不順など専門性が必要なものまで、相談種類は多様

	小児科医		産婦人科医		助産師	
	いつでも相談	夜間相談	いつでも相談	夜間相談	いつでも相談	夜間相談
1位	育児相談など	育児相談など	保健相談 (妊娠中)	月経不順	育児相談など	育児相談など
2位	乳児湿疹	発達相談 (正常範囲含む)	月経不順	切迫流産	その他の 授乳相談	精神的な 不調や不安
3位	湿疹	頭部打撲	保健相談	保健相談 (妊娠中)	授乳リズム (生活リズム含む)に 関する相談	母乳分泌量に 関する相談
4位	便秘症	急性上気道炎	切迫流産	保健相談	精神的な 不調や不安	その他の 授乳相談
5位	急性上気道炎	乳児湿疹	保健相談 (産後)	避妊相談	母乳分泌量に 関する相談	授乳リズム (生活リズム含む)に 関する相談

# 小児のこころや発達に関する相談も可能

相談しにくいことも自宅から気軽に相談できる

よく忘れ物をして先生に怒られてしまう...子どもも辛そうだけどどうしたらいい？

子どもと目があいにくいや気がする。ネットで調べて自閉症の可能性も書いてあり心配。専門家に一度相談したい。

下の子が生まれてから上の子が赤ちゃん返りするようになった。どう対応したらいい？

8か月になったけれどハイハイをしない。発達が遅れているのではと心配。



発達に関する記事配信で情報収集できる

小児科オンライン  
ジャーナル

小児

うちの子、発達障害かも？～基本的な特徴と考え方～

2016年11月22日 syounikaonline

発達



園や学校でよく友達とトラブルになる、忘れ物をする、担任から頻りに連絡がくる・・・そんな我が子を見て、「うちの子、発達障害かも？」とってしまうことはありませんか？最近、発達障害に注目が集まっています。園や学校に適應できない子、子育てに手のかかる子に多いと言われていますが、でも発達障害って何か、よくご存じない方も多いのではないのでしょうか。発達障害は、大きく3つに分けられます。

### 現役の小児科医・産婦人科医・助産師の対応をお約束します

- 対応する相談員は、小児科医・産婦人科医・助産師に限っています。採用の条件として**日本の国家資格を有していること、専門領域での臨床経験を3年以上有していること**を定めています。
- 多様な専門の医師・助産師が所属しているので、悩みに合わせて相談医師を選択できます。
- 2024年7月現在、**250名を超える医師等**が参画しています。相談数の増加に伴う相談員の増員も可能です。
- 2020年には、経済産業省の委託を受け、コロナ禍の健康不安に対応するため**全国民へ無償提供を一時的に実施した実績**も有しております。その際は現在の6倍の規模の相談に対応していました。



小児一般



小児一般



小児がん



小児一般・  
感染症  
予防接種



母乳育児  
成長発達



消化器



産婦人科一般



産婦人科一般



産婦人科一般



助産一般  
母乳栄養



母乳育児  
ヨガ



助産一般  
母乳栄養



## 2. 医師、助産師による対応、質の管理：医師と助産師がいる強み

confidential

オンライン相談（遠隔健康医療相談）で遵守が求められる  
ガイドライン\*にて医師と医師以外の差異が明記されており、  
個々の状態に応じた医学的助言ができるのは医師のみです



個人の心身の状態  
に応じた必要な  
医学的助言



医師のみOK



一般的な  
医学的な情報  
の提供や受診勧奨



医師+助産師



相談者の気持ち  
への寄り添い、  
ケア



医師+助産師

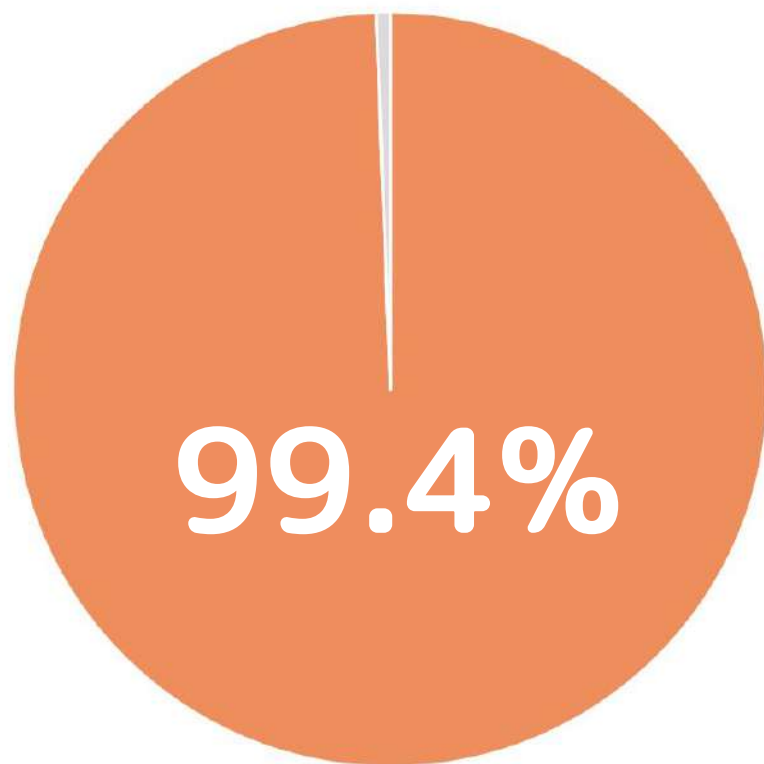
弊社は医師と助産師がおり、  
個別の医学的助言から気持ちへの寄り添いまで幅広くサポート

\*オンライン診療の適切な実施に関する指針 平成30年3月（令和5年3月一部改訂）

運営側の産婦人科医・小児科医・助産師によって構成される「Quality Control Team (QCT)」が、**医学的な適切さと利用者満足度の両方から相談の質を担保**

利用満足度（再利用意向）

QCTの内容と運用方法



- **相談対応内容のチェック**
  - アンケート結果や回答状況の数値チェック
  - 具体的な回答内容のサンプルチェック
- **医療者へのフィードバック**
  - アンケート全件共有
  - 新規の医療者は丁寧に確認
  - 全体値より大幅に低い満足度の医療者には個別フィードバック
- **ナレッジ共有**
  - オンラインによるコミュニケーションのポイントをまとめたマニュアルを整備
  - 最新の診療ガイドラインや論文を相談に活用できる共有資料の作成・更新

### 専門家にいつでも相談できる安心感



オンラインを通して医師に直接相談できるのは本当にありがたいです。小児科の少ない地域に住んでいる私にとってはなくてはならない存在です。



以前はネットなどを見ては不安になっていましたが、専門家に気軽に相談できるということで、過度な不安にならずにまず聞いてみよう、と育児に専念できることが何よりありがたいです。

### 夜間・休日、受診目安に活用



金曜日の夜間に利用しました。病院が空いてない時間の不安を解消してもらえてとても心強かったです。



この程度で受診してもいいのか?と思ったとき相談できるので助かります。夜間、相談し緊急受診の必要性は低いとアドバイスもらえると安心につながります。

### 使い慣れたツール



時代に合った取り組みだと思う。電話や対面は苦手なので、LINEでは打ち明けやすかった。写真を添付できたのもありがたかった。

## 相談実績

2016年のサービス開始以来、

**15万件**を超える

の相談に対応

## 医療事故の発生件数

利用後、健康被害に関する訴えは

**0件**

※弊社側の過失が発生した場合に、補填できる保険に加入しているが、過去に利用実績はなし

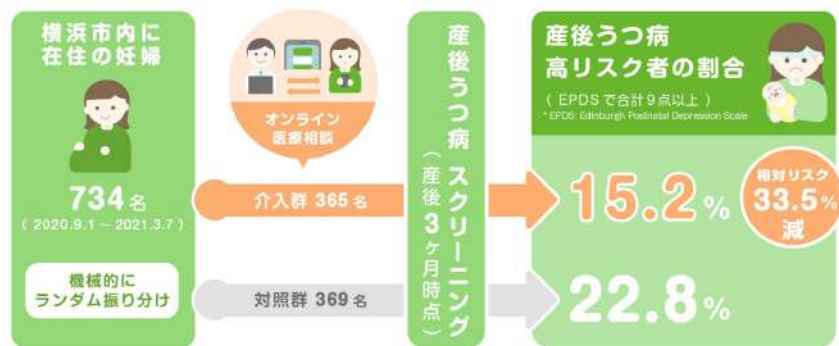
- 相談サービス利用時に同意文言の中に医療行為ではないことを明示。オプトインでの了承を得た上で、サービスを利用いただいております。
- また、相談対応時には、どういう状況になったら通院すべきかのアドバイスまで行うよう、相談員（医師・助産師）には指導しております。

## 弊社のオンライン相談サービスは多くの実証実験で効果を証明

### 【横浜市,東京大学】

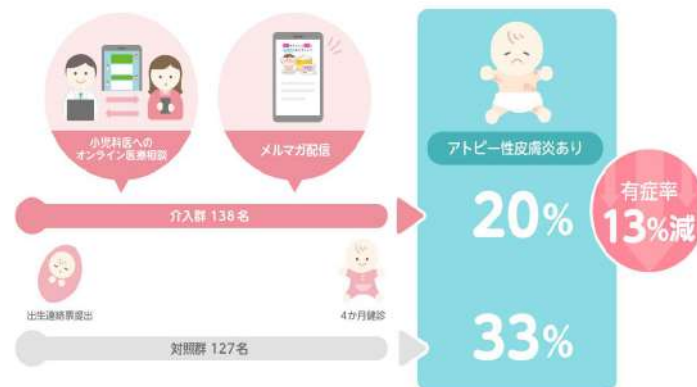
産後うつハイリスク者を2/3へ —RCTで実証—

遠隔健康医療相談サービス(産婦人科・小児科オンライン)を妊娠期から提供することで、産後うつ病の高リスクとなる人の割合がおよそ2/3に減少しました(ランダム化比較試験)



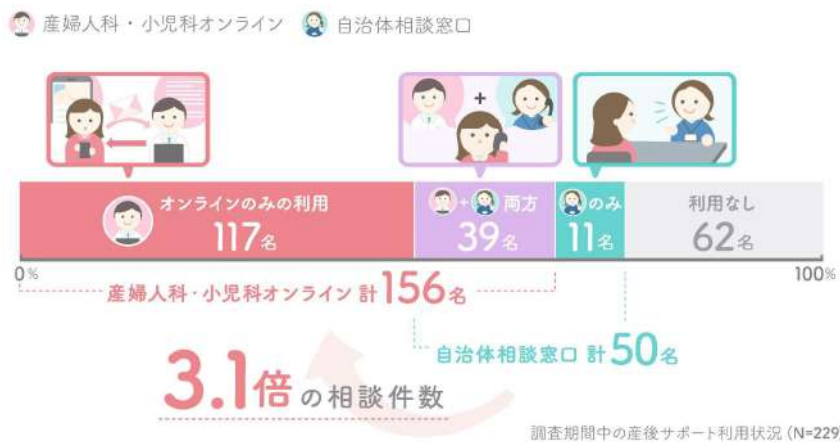
### 【横浜市,国立成育医療研究センター】

アトピー有症率13%減少 —RCTで実証—

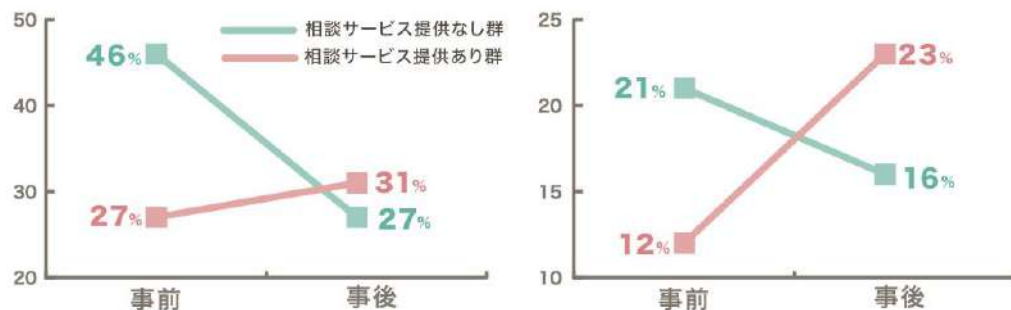


### 【東京都】

自治体窓口単独と比較し3.1倍の人口から相談あり



### 【厚労科研費研究,山口県立総合医療センターへき地医療支援センター】 医療アクセス格差是正に貢献



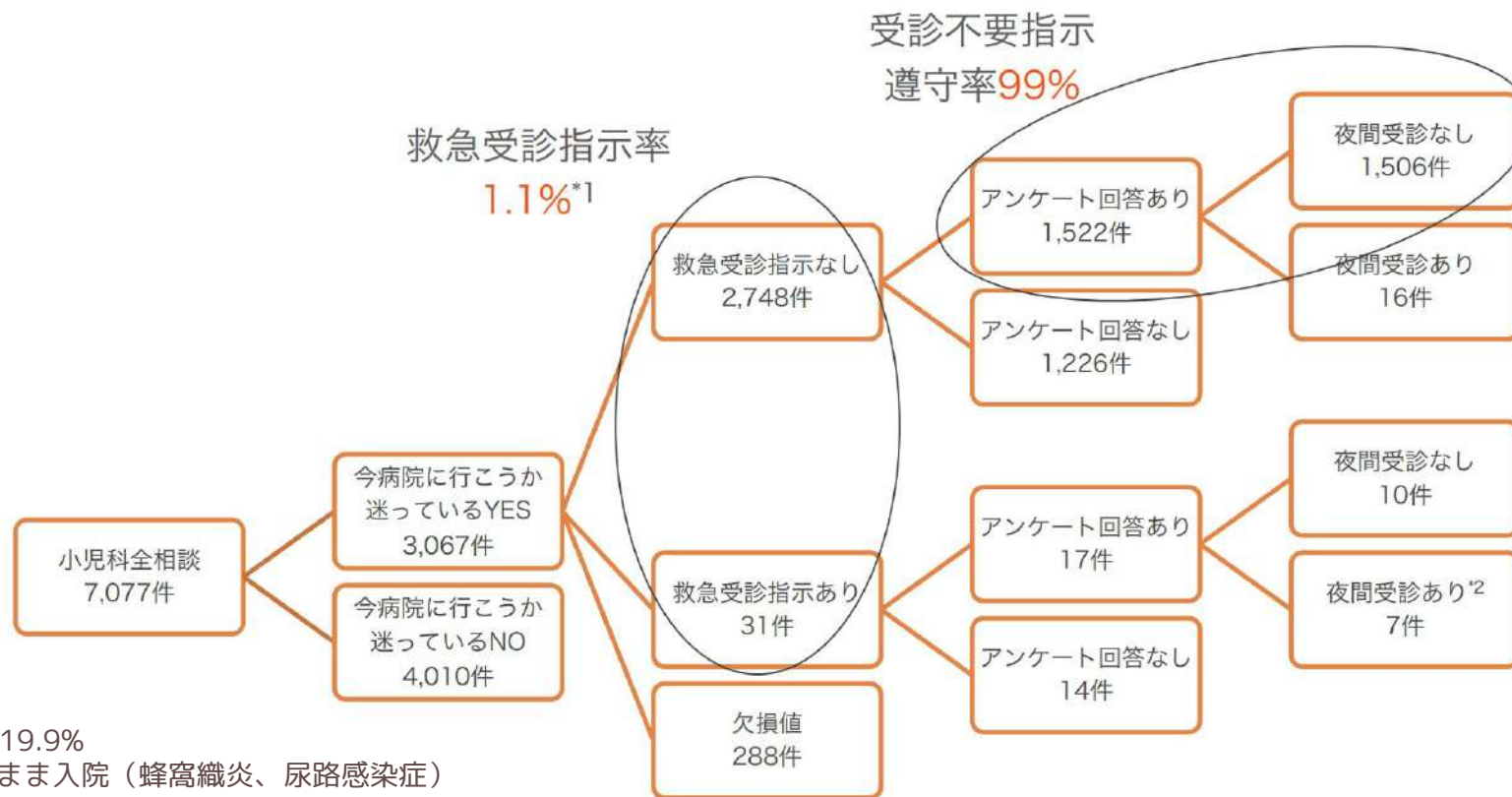
産婦人科・小児科オンラインは、小児科医を1.5倍身近にさせる

産婦人科・小児科オンラインは、2.1倍問題解決をもたらす

※X倍の表現に関しては、多重ロジスティック回帰分析にてPRRを算出して評価した

ほぼ全員が小児科医の指示通り不要不急の受診を控え、  
夜間の受診負担の軽減に貢献

受診行動（小児科、全期間）



\*1 #8000では19.9%

\*2 2例はそのまま入院（蜂窩織炎、尿路感染症）

根拠資料：

経済産業省 令和2年度補正遠隔健康相談事業体制強化事業（小児・産婦人科専門窓口）最終報告（公開用）

[https://www.meti.go.jp/meti\\_lib/report/2020FY/000663.pdf](https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2020FY/000663.pdf)

産婦人科・小児科オンラインを導入いただくことで、  
より手厚い妊娠/出産/子育てサポートが可能になります

### 一般的な 妊娠/出産/子育てサポート

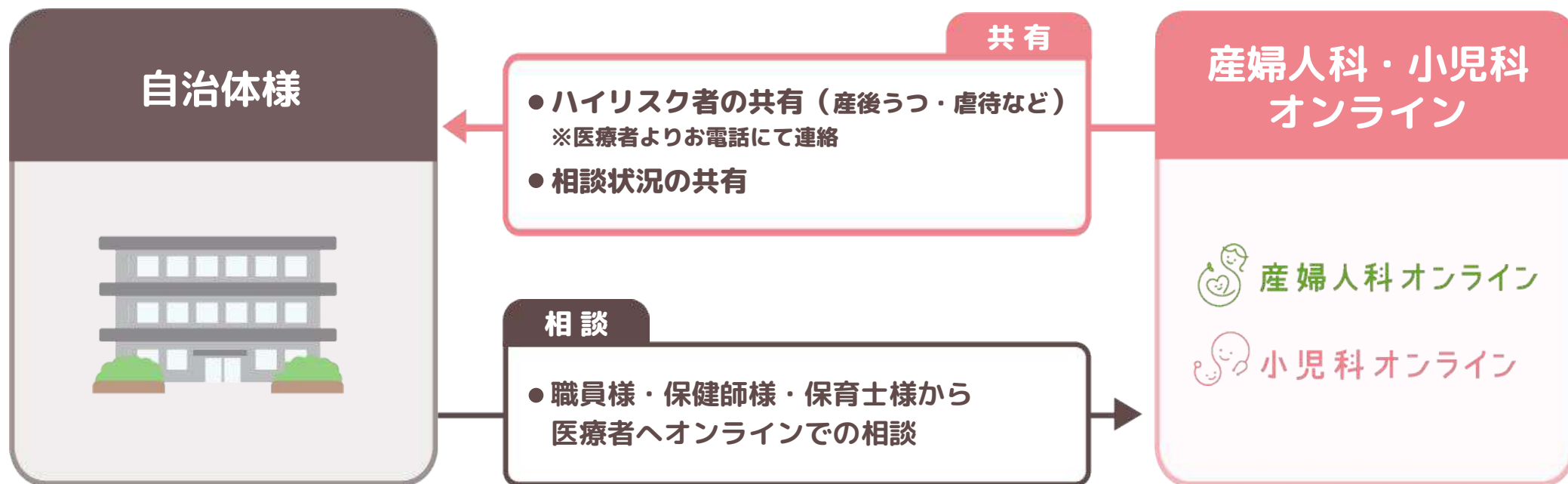
- 1 電話相談
- 2 対面サポート（定期訪問など）
- 3 支援制度の整備



### 産婦人科・小児科 オンライン

- 1 オンライン相談（24時間対応）
- 2 産後うつ  
自動スクリーニングシステム
- 3 医療記事配信
- 4 住民参加型・動画ライブ配信
- 5 悩み自動解決bot（オプション）

自治体様との連携を密に行わせていただくことで、自治体様の妊娠 / 出産 / 子育てサポート活動をより効果的・効率的にします





## 相談を通じて把握したハイリスク者に関しては、運営側の医療者で対応を協議し、必要性が高い場合は自治体連携を行っております

### ①相談員からアラート

ハイリスク（虐待、家庭内暴力、産後うつ等）の印象があるため行政連携を検討してほしい



相談対応した医療者  
(産婦人科医・小児科医・助産師)

### ②運営側医療者で対応を協議



運営側の複数の医療者で構成されたチーム

### ③必要度が高い場合は自治体連携

必要度に応じて、対応を選択



- A. 本人へ連絡なく行政連携 & 児相連携
- B. 本人へ連絡の上、同意の有無に関わらず行政連携
- C. 本人へ連絡し、同意が得られれば行政連携
- D. 経過観察（次回の相談対応時に参照できるように、相談履歴に記載）

- 厚生労働省「児童虐待の定義と現状」、文部科学省「学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き」を参考に、医学的・社会的リスクを判断
- 必ず**複数**の医療者で判断。過去の相談傾向も分析
- 必要性が高い場合の本人同意なしの連携については、会員登録時に小児科・産婦人科オンライン個人用利用規約 (<https://syounika.jp/terms>) 第14条にて同意取得済み

# 全国178箇所の自治体で利用可能

※2024年11月現在 ※4箇所の非公開自治体あり

都道府県		市町村	都道府県		市町村
北海道	北海道	えりも町,月形町,沼田町,秩父別町,妹背牛町,北竜町,夕張市,鷹栖町,栗山町	近畿	三重県	多気町,東員町
東北	青森県	むつ市		兵庫県	相生市,朝来市
	秋田県	藤里町		大阪府	藤井寺市,大阪狭山市,泉南市(実証実験)
	岩手県	遠野市,八幡平市,岩手町,岩泉町,釜石市(実証実験),未来かなえ機構(大船渡市・陸前高田市・住田町)		奈良県	三宅町,川上村,川西町,御所市,大和高田市,広陵町(実証実験),十津川村(実証実験)
	宮城県	丸森町,角田市	和歌山県	海南市	
関東	福島県	石川町,昭和村,猪苗代町	中国・四国	鳥取県	大山町
	群馬県	昭和村		島根県	美郷町
	千葉県	市原市,白子町		広島県	府中市,安芸太田町
	埼玉県	横瀬町,上尾市		山口県	県全体(19自治体)
中部	東京都	府中市,日野市,八王子市	香川県	琴平町(実証実験)	
	神奈川県	県全体(プレコンセプションケア相談事業・33自治体) 南足柄市,大井町,箱根町	徳島県	県全体(24自治体)	
	新潟県	村上市	愛媛県	伊方町,八幡浜市,久万高原町,上島町(実証実験)	
	富山県	県全体(15自治体)	高知県	四万十町,土佐町(実証実験)	
九州	石川県	能登町(実証実験)	九州・沖縄	長崎県	南島原市,小値賀町
	福井県	南越前町,あわら市,高浜町		熊本県	菊陽町,高森町,山都町(実証実験)
	山梨県	富士河口湖町		鹿児島県	錦江町,宇検村,十島村(実証実験)
	長野県	白馬村,木祖村,上松町,岡谷市		沖縄県	伊江村,宮古島市,うるま市(実証実験)
	静岡県	裾野市,川根本町			
愛知県	春日井市,南知多町				

全国実装の  
経験あり

- ・ コロナ禍における「令和2年度補正遠隔健康相談体制強化事業」の委託先として採択される
- ・ 2020年5月1日-8月31日全国民へ、無償提供

# 導入準備～運用について

## 自治体様には事務手続きの他、提供開始時の住民の皆様への周知を依頼、 それ以外は弊社にて対応

### 導入ミーティング

### 開始準備

### 提供開始

### 運用

#### 自治体様

- 契約の締結
- 「合言葉」の検討
- 告知物の確認
  - チラシ・ポスター
  - プレスリリース原稿
  - etc
- 周知活動の実施
  - 記者会見
  - HP掲載
  - ポスター掲出
  - チラシ配布
  - 窓口での案内
  - etc
- (周知活動の継続)

#### 弊社

- 利用方法のご案内
- 事務手続きのご案内
- 今後のスケジュールのご案内
- システム設定
- 告知物の作成・納品
- プレスリリース原稿作成
- 保健師様への説明会
- プレスリリース配信
- 住民からの相談対応・質問対応
- 自治体様へ利用状況のご報告(月次)
- (必要に応じて) チラシの追加制作



## 導入時の住民様の声や、自治体様の対応工数を実感いただけます

昨年度も多くの自治体様が無料トライアルを経て、導入に至りました

**対象：** 来年度、産婦人科・小児科オンライン導入を検討の自治体様

**期間：** 3ヶ月～6ヶ月程度

**登録上限：** 年間出生数20名未満 ▷基本は登録上限50名まで

年間出生数20名以上 ▷基本は登録上限100名まで

**対象年齢：** 0歳児を育てる保護者向けがおすすめ

**開始時期：** トライアル実施決定後、1ヶ月～2ヶ月での開始が可能

**契約手続：** 必要なし（ご希望があれば協定書締結）

**効果検証：** 事業終了間際にアンケートを実施

**成果物：** 期間終了後 アンケート結果と期間中の登録、利用件数やご利用者の声を提出

保健師様の活動阻害や、医師会との関係性悪化は  
過去の導入自治体様において発生していません

日常の妊産婦、子育て支援業務への悪影響  
(説明方針の違いやクレーム対応)

医師会や地元の医師からのクレーム



発生なし  
100%



発生なし  
100%

※2021年12月弊社サービス自治体様へのアンケート (N=24) において、「よくあった」「たまにあった」の回答は0



小児科オンライン LINEのQRコード

自治体様の「合言葉」を確認  
チラシのQRコードを読み取り  
LINEの友達追加



LINEメッセージのリンクから  
「会員登録」をクリック  
合言葉等を入力して会員登録



公式LINEのメニューまたは  
ウェブからサイトにログイン  
相談方法を選んで利用開始

# 【令和6年度】補助金一覧

confidential  
※2024年3月現在

省庁	担当部署, 連絡先	名称	補助率	上限額	時期	特徴
こども家庭庁	こども家庭庁 母子保健課母子保健係 03-6862-0413	母子保健対策強化事業*	国1/2・市町村1/2	6,043千円	令和6年度も対象	「SNSを活用したオンライン相談」が対象と明記あり
	こども家庭庁 少子化対策室 03-6860-0142	地域少子化対策重点推進交付金（結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組）	1/2～2/3 （自治体の重点項目による）	令和6年度以降に確定 令和5年度と同じ可能性が高い  （令和5年度 都道府県 1市区につき 66,666千円 政令指定都市・中核市・特別区 1市区につき 20,000千円 上記以外の市町村 1市町村につき 10,000千円）	令和6年度も実施	申請は都道府県にし、都道府県が内閣府に申請となる。
	こども家庭庁 成育局成育環境課相談支援係 03-6861-0228 seiikukankyousoudan@cfa.go.jp	妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施（出産・子育て応援交付金）	国 1/2 都道府県1/4	令和6年度も対象	プッシュ型の情報発信、随時相談の実施を推奨が可能 「2024年度も継続して実施するとともに、2025年度から子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）の新たな給付として制度化することとし、所要の法案を次期通常国会に提出する。」	
厚労省	地域医療計画課 Tel: 03-3595-2186	地域医療介護総合確保基金	国→都道府県 2/3補助 （都道府県→市区町村の補助率は県の裁量）	国の予算内であればよし	令和6年度も対象 都道府県から国は、毎年3月ごろ要望を提出し、7・8月内示、その後事業スタートとなる。	原則単年度計画。都道府県がメニュー化するかが肝となる。#8000も適応になっているので、適応にはなるだろう。
内閣府	内閣府地方創生推進室 デジタル庁 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局デジタル田園都市国家構想推進交付金（推進タイプ） 地方創生推進事務局 Tel: 03-3581-4214	デジタル田園都市国家構想交付金【当初】	1/2 令和6年度の具体的な内容については予算編成過程において検討	先駆型 都道府県3.0億円 中枢中核都市2.5億円 市区町村2.0億円 横展開型 都道府県1.0億円 中枢中核都市0.85億円 市区町村0.7億円 Society5.0型 国費3.0億円	要確認 （例年11月公開、12月募集開始）	多分野にまたがっていることがポイント ：育児支援＋産後うつ予防＋夜間受診適正化etc, 早めの問い合わせが望ましい
	内閣府地方創生推進室 デジタル庁 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）担当 e-mail : digitaldenen-kofukin.f7k@cao.go.jp jp tell : 03-6257-3889	デジタル田園都市国家構想交付金【補正】	令和5年度：1/2 （TYPE1の場合） 令和6年度：未定	国費：1億円  ※申請上限数（TYPE1-3の合算値）： 都道府県9事業 市町村5事業	要確認 （例年11月公開、12月募集開始）	・補正のみ ・デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組むコンソーシアムを形成する等、地域内外の関係と連携し、事業を実行的、継続的に推進するための体制の確立すること

※詳しくは各担当部署にご確認ください。キーワード：育児支援、産後うつ予防、母子保健、ICT、地方創生、自殺予防、医療体制整備、コロナ、オンライン保健指導、オンライン医療、孤立予防



# 参考情報

会社名	株式会社Kids Public
所在地	〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町11番地8 SK美土代町ビル5階
設立	2015年 12月
代表者名	橋本 直也（小児科医）
事業内容	インターネットを介した成育医療
従業員数	27名（2024年8月現在）
受賞歴	<p>2016.4 Open Network Lab 12th Batch Demodayオーディエンス賞</p> <p>2016.11 TechCrunch Tokyo 2016「スタートアップバトル」優勝(114社中)</p> <p>2017.3 東京都から有限責任監査法人トーマツが委託を受けて運営する「ASAC Batch3 Demo Day」優勝</p> <p>2017.9 第11回キッズデザイン賞にて経済産業大臣賞を受賞</p> <p>2017.11 第6回健康寿命をのぼそう！アワードにて厚生労働大臣賞を受賞</p>
問い合わせ先	business@kids-public.co.jp



## 橋本直也

CEO,小児科専門医, 公衆衛生修士, 小児科オンライン代表, こども家庭審議会成育医療等分科会委員

2009年 日本大学医学部卒  
2011年 聖路加国際病院にて初期研修修了  
2014年 国立成育医療研究センターにて小児科研修修了  
2016年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業  
2015年- 都内クリニック勤務、株式会社Kids Public設立



## 重見大介

産婦人科専門医, 医学博士  
産婦人科オンライン代表

2010年 日本医科大学卒  
2012年 日本赤十字社医療センターにて初期研修修了  
2015年 日本医科大学と関連病院にて産婦人科研修修了  
2018年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業  
2022年 東京大学大学院 博士課程(医学)修了  
2018年- 病院勤務、研究活動と並行して、株式会社Kids Publicの産婦人科を統括



木戸 道子

日本赤十字社医療センター  
第一産婦人科部長



三石 知左子

東京かつしか赤十字  
母子医療センター院長



五十嵐 隆

国立成育医療研究センター理事長



伊藤 秀一

横浜市立大学大学院医学研究科  
発生成育小児医療学（小児科学）  
主任教授



鈴木 俊治

日本医科大学  
女性生殖発達病態学大学院教授  
産婦人科診療ガイドライン  
産科編2020作成委員会委員



河合 尚基

日本医科大学武蔵小杉病院  
女性診療科・産科 非常勤講師



秋山 千枝子

あきやま子どもクリニック院長  
公益社団法人日本小児科学会  
理事会諮問委員  
東京都教育委員会委員  
こども家庭審議会部会委員



吉田 穂波

神奈川県立保健福祉大学大学院  
ヘルスイノベーション研究科教授



森 恵美

千葉大学大学院  
看護学研究院名誉教授  
特任教授  
日本母性看護学会理事  
日本母性衛生学会副理事

特定のご利用者が、相談対応する医療者に過度な精神的負荷をかけるような相談を繰り返した場合、もしくは、他者の利用を妨げる頻度でご利用された場合、利用停止等の措置を取らせていただく場合がございます。

ご利用者には下記の個人用利用規約(<https://syounika.jp/terms>) に同意いただいております。

## 第4条2項（法人等利用契約）

本利用者は、自身又は家族が所属する利用法人等と当社との間で締結した法人等利用契約の内容に従い、本サービスを利用する場合には、次条に定める会員登録の上、本サービスを利用することができます。

ただし、特定の本利用者が利用を過度に繰り返し、他の利用者の利用を阻害するおそれのある場合には、利用の回数制限又は禁止を求める場合があります。

## 第5条6項（会員登録）

本サービスの利用開始後に、前項に定める各号事由のいずれかに該当した方、又は該当することが判明した方については、当社は、当社の判断により、その時点で本サービスの全部若しくは一部の利用を制限することができるものとします。なお、当社はその理由について一切の開示義務を負わないものとします。

## 第9条3項（遠隔健康医療相談サービス）

連続した時間帯での予約及び他の登録会員の方の利用を著しく阻害する頻度での予約及び利用はできません。

## 対象の方への連絡の流れ

14日間に10回以上の利用や、夜間相談を1日複数回利用された方がいた場合に、複数人の医療者が相談内容を確認し、メールを送付することは医学的・社会的に問題ないと判断した場合、対象者に弊社ユーザーサポートより利用を控えていただくようメールにてご連絡させていただきます。

メールした後1ヶ月-2ヶ月間注視して同様の頻度だった場合、利用を5日間に1回までに制限させていただき、その旨をメールにてご連絡させていただきます。

※法人様へは事前確認なしにて実施させていただきます。

# Kids Public

## Mission

成育過程の健康を守り、その向上に貢献する

## Vision

誰もが成育過程を健やかに過ごせる社会の実現

## Value

健康への貢献

エビデンスに基づく事業展開

人とテクノロジーの協働

格差の是正

社会的な視点

## Credo

既成概念からの解放

あくなき向上心

相互理解

長期安定的な成果の追求

